

輝け！シン尾花沢中

第103号

令和7年

10月10日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

秋晴れの中、協力してつくり、楽しく食べました～2年生芋煮会～



9日（木）の気持ちよい秋晴れの中、2年生の芋煮会が行われました。中学校での芋煮会は2度目ということもあり、班で協力して手際よく芋煮をつくって食べていました。以下、生徒の感想を紹介します。

古瀬^{そうた}壮大さん：班のみんなと最もおいしい芋煮をつくることができました。また、自分は主に火加減を調整する仕事をしていました。いぶ臭くなりながらも、おいしい芋煮をつくることができ、やりがいを感じ、うれしかったです。

早坂^{ささ}つばらさん：私は里芋を洗ったり、火にうちわで風を送ったりしていました。味付けも大変だったけれど、みんなで助け合えたので良かったです。できた芋煮も味が染みていてとてもおいしかったです。来年は最後なのでもっとがんばりたいです！

大貫^{ゆうな}結菜さん：火加減や具材の調整が難しかったですが、とてもおいしかったです。どの班よりも早くつくったのでゆっくり食べることができました。味が定まらず大変でしたが、完食できたし、いつもできない経験ができてよかったです。来年は、もっと汁の多い芋煮をつくりたいです。

石原^{ほのか}萌果さん：今年は具材を洗ったり切ったりと、昨年とは違った調理の仕事ができてよかったです。里芋もやわらかかったし、味付けもちょうどよくてとてもおいしかったです。来年は最後の芋煮会なので、みんなと協力して今年よりもおいしい芋煮をつくることのできるよう頑張りたいです。

菅野^{ねお}音桜さん：班のみんなで分担して食材を洗ったり切ったりして、とても早くおいしい芋煮をつくることのできたの良かったです。芋が少し硬かったですが、先生や友達が「おいしい」と言ってくれたのでうれしかったです。来年も新しい班でおいしい芋煮をつくることのできるといいです。

堀江^{わたる}航さん：僕は、火加減と協力性を学びました。火加減では、木を入れるタイミングにも気をつけながら、火力を調整して頑張りました。また、おいしい芋煮をつくることのできるように班全体で協力しました。楽しかったです。

楽しさに浸りながらも、協力して何かを成し遂げることの大切さを学んだようです。まさに、学年スローガン「Growth」（成長）通りの2年生ですね。 【文責：校長 工藤雅史】